

多少改良的ヲ有ワテモ或ハ保守的ヲ有ワテモ勞働階級ノ為メニ利益ヲ増進スルナ  
ラハ吾々ハ其レヲ先ツ獲得セシメハナラヌソオエテ意味ニ於テハ其レヲ案ニ當リシク  
ノテ有リマス現在施行セラレテ居工場法ハ明治四十四年發布セラレテ内閣  
カ基ヲ勞働階級ニ對シテ不利ナルト云フ為メニ大正十二年ニ改正セラレテ居ル  
ノテアル也然レナカラ改正サレテ居ル是ニ對スル施行令カ未ク出テ居ラナイテアル  
私共大正十二年度ニ於テ改定セラレタ工場法ニ對シテ其儘施行シテ莫レトモテ事  
テナクシテ寧ロ之ニ對シテ相違勞働階級ニ有利ナ儀ヲ修正シテ致シマシテソオレテ  
決シテ施行令ヲ早ク致シタイト思フノテアリマス例ハ修正致シマスル個所ニ於テモ  
現在ノ工場法ハ十五人ヲ以テ工場法適用範圍トシテ居リマス然レ乍ラ改正工場法  
ハ是レヲ十人ニシテ居リマス吾々ノ考ヘルノニハ此ノ適用ノ範圍モモツト改正サレル  
必要カアル或ハ幼年工及女工ノ時間ノ短縮及休憩時間ノ向類尚工場主カコノ  
工場法ニ關レタ場合ニ於ケル四割金制度ノ向類例ハ今日ノ資本金階級ハ工場法  
ヲ犯ス事ニ對シテ何等痛痒ヲ感シテ居ナイ例ハ工場法ニ規定セラレテ居ル

事ヲ以テハルヨリモソレヲ犯シテ罰金ヲ拂ツタ方カ安ク行クト思ヒマス其ノ為メニ  
殊更工場法ヲ適用シナイテ安イ罰金ヲ拂ツテ居ル場合カ在々アリマスカラ工場法ヲ  
犯ス場合ニハ資本金階級ニ對シテ累進罰金法ヲヤル事ニ必要ナルト思ヒマス  
殊ニ大正五年ニ施行セラレマシタ工場法ノ施行令ノ勞働階級ニ對スル規定ニ於  
テアリマス是等ニ對スル金額ノ莫ク吾々ノ充分之ヲ勞働階級ニ利益ニナル課税トイ  
ト思ヒマス例ハ單ナル例テアリマスカ日本電氣株式會社ニ於テアノ大震災ノ場合ニ  
ニ工場ノ倒壊シ其ノ為メニ百四人勞働者カ慘死シタ或ハ負傷シタ者ノ二百人モ出  
タ事カアル其等ニ對スル手當ノ制度ハ昨年ニ貧弱ナル一人ノ死傷者ニ對  
シテ手當一千円程シカ出シテ居ラヌ或ハ終身自由ヲ辨スル事ノ出来ナイ  
横ナ負傷者ニ對シテモ僅カノ扶助料シカ出シテ居ラヌ又吾々ハ新標ナ色ニノゴト  
ヲ改正スル事カ出来ソオシテ勞働階級ノ利益ヲ増進スル事ハソレカ今日  
勞働組合トシテノ職責テナケレハナラヌト考ヘルノテアル私共現行概ノ參事ノ近ニ  
扶助手當カトウキ同ニナワテ居ルカ或ハ年度改正セラレト云フ事カ私共現行概ノ參事ノ近ニ